

マルチステークホルダー方針

当社は、「食文化の創造と紹介を通じて社会に貢献する」を企業理念として掲げております。この企業理念のもと、お客様、従業員、株主、取引先、そして地域社会などを含む多種多様なステークホルダーとの関係性をより深め、適切な協働に取り組むことで、社会的価値と経済的価値の実現を目指しております。

この多種多様なステークホルダーとの協働によって生み出される価値、収益や成果について、従業員への還元や取引先への配慮が社会と当社の持続的な発展において重要であることを踏まえ、マルチステークホルダーへの適切な分配を行ってまいります。

記

1. 従業員への還元

当社では、企業理念のもと、従業員やパートナー、また全てのステークホルダーの皆様とのエンゲージメント、信頼関係を深め、ブランド価値を最大限高めていくことを具体的な戦略としております。

当社は、日本レストランシステムグループに関わる人々を幸せにする企業でありたいと考えております。そのため、従業員やパートナーが自らの能力を最大限発揮できるような持続的な成長と生産性向上に取り組む環境を整え、何事にも挑戦できるべく人材への投資にも積極的に取り組むことで、従業員の付加価値の最大化を目指しております。

具体的には、当社で運営する様々な業態における調理研修やコーヒー研修を継続に学ぶことで各人のスキルアップを目指すことにより、生活向上と幸福実現のための処遇改善及び賃金の引上げを従業員への持続的な還元として行ってまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き取り組んでまいります。

パートナーシップ構築宣言の登録日

2024年3月29日

パートナーシップ構築宣言の URL

<https://www.biz-partnership.jp/declaration/56252-14-00-tokyo.pdf>

3. その他のステークホルダーに関する取り組み

当社は、食文化の創造と紹介を通じて社会に貢献していく企業として、ステークホルダーへの貢献に加え、SDG s を経営に組み入れ、企業収益を高めると同時に社会や地球環境の改善につながる活動を行っております。

SDG s 活動としては、

- ① 豊かな社会の実現
- ② 地域や地球の持続性
- ③ 平和で公正な環境

を掲げ、持続可能な社会の実現に向けて活動を推進してまいります。

なお、SDG s の詳細については、以下の URL をご覧ください。

<https://www.dnh.co.jp/html/csr01.html>

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実に進めてまいります。

以上

2024 年 4 月 9 日

日本レストランシステム(株) 代表取締役社長 大林豁史

法人の名称

代表者の役職及び氏名